

Ⅱ 普及活動

1 美術講演・講座

講演講座を実施することにより、美術に対する理解を深め、教育普及に資するとともに展示事業の広報にも役立て、県民の美術への親しみや関心を高める。

(1) 講演会

期日	会場	講演名	講師	内容	参加人数
21・10・10	アルスホール	わたしたちの素材・表現・時代	田嶋悦子（作家） 笹井史恵（作家） 外館和子（つくば美術館主任学芸員）	作品解説を交えながら、作家の芸術観・人生観・世界観について、理解を深める機会とした。	75
22・2・13	講座室	トルコの大学アメリカの大学	小林征児（陶芸家） 外館和子	海外の美術教育事情について、作家と学芸員の立場から紹介、意見交換した。	28
合計					103

(2) ギャラリートークなど

期日	会場	講演名	講師	内容	参加人数
21・5・9	展示室	ギャラリートーク	舟木力英（茨城県近代美術館学芸専門員）	相笠昌義展について新知見を含め、列品解説した。	37
21・5・16	展示室	ギャラリートーク	舟木力英	相笠昌義展について新知見を含め、列品解説した。	43
21・10・25	展示室	ギャラリートーク	外館和子	イン・ザ・フラワー・ガーデン展について、展覧会担当学芸員が新知見を含め、列品解説した。	28
21・11・7	展示室	ギャラリートーク	外館和子	イン・ザ・フラワー・ガーデン展について、展覧会担当学芸員が新知見を含め、列品解説した。	46
合計					154

(3) ワークショップ

期日	会場	講演名	講師	内容	参加人数
21・10・31、 11・1	講座室	漆のワークショップ「漆物語— 笹井史恵×大子町」	笹井史恵（漆の作家） 外館和子	大子漆による塗りの体験を通して、出品作品について技法の上から理解を深める機会とした。	70
合計					70

(4) イベント (貸しギャラリー)

貸しギャラリーでの展覧会場で、作品解説を中心とした作家のギャラリートークやギャラリーコンサートを開催した。

期日	会場	展覧会名	内容	講師	参加人数
21・4・11	展示室	陶・小林征児展もうひとつの仕事— 駄駄男	ギャラリートーク	小林征児 (作家), 外館和子 (茨城県つくば美術館主任学芸員)	60
21・4・14	展示室	すどう美術館第 7 回「OPINION OF ART」 同時開催 菅創吉展	公演	須藤一郎 (すどう美術館館長)	36
21・4・18	展示室	山岡草創作和紙人形の世界展	ギャラリートーク	外館和子	23
21・6・20	展示室	アートウェーブつくば	ジャズシンガーコンサート	アートウェーブつくば関係者	55
21・7・15	展示室	高橋一昭展	ギャラリーコンサート	高橋一昭展関係者	35
21・8・2	展示室	エリザベス・ロブレス個展	ウッドフルート演奏	田中潤一	119
21・8・22	展示室	第 8 回茨城一陽展	ギャラリートーク	柳田昭 (作家), 中野滋 (作家)	49
21・11・15	展示室	第 28 回茗溪学園美術展	ギャラリートーク	担当教諭, 出品者	65
21・12・5	展示室	平成 21 年度筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程 芸術専攻 洋画・日本画・版画作品展「MC展」	日本画領域講評会	藤田志朗 (筑波大学日本画領域担当教員)	35
21・12・6	展示室	平成 21 年度筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程 芸術専攻 洋画・日本画・版画作品展「MC展」	洋画領域講評会	福満正志郎 (筑波大学洋画領域担当教員)・内藤定壽 (同)・仏山輝美 (同)	64
21・12・19	展示室	第 13 回取手松陽美術科展	ギャラリーコンサート	松陽エヴァーグリーン	19
22・2・23	展示室	第 9 回チャレンジアートフェスティバル in つくば	オープニングコンサート	高梨理恵	110
22・2・28	展示室	第 9 回チャレンジアートフェスティバル in つくば	立体切り紙アート実演	望月悠加	37
			古着リメイクファッションショー	筑波技術大学ファッションサークル	96
			クロージングコンサート	緒里原洋子	121
合計					924

(5) クロッキーの会

毎月第1火曜日、講座室

モデルを使ったクロッキー会を開催している。

総参加者数 253人

(6) 絵画の会

毎月第3火曜日、講座室

人物画、静物画などテーマを決めて制作に取り組む。

月1回開催。美術への関心を深めることを目的として実施している。

総参加者数 109人

2 コンピュータグラフィックス（講座室）

講座室内に3つのブースを設置し、臨時職員を指導者として配置している。小学生を中心に幼児から大人まで幅広く利用されている。また、幼児、小学生用の画集や絵本、図工書を備えた書架を設置している。

総利用者数 1479人

3 ビデオライブラリー（講座室）

2つのブースを設置し、美術史や技法及び作家紹介のソフト、子ども向けのアニメーションソフトを約40巻の中から選択して自由に視聴することができる。

総利用者数 1264人

4 博物館実習

●**概要** 博物館法第5条第1項第1号に該当するものを対象とし、当館の活動に携わることを通して、体験的に学芸員の職務の理解に資することを目的に、各大学からの依頼に基づき実施している。

●**参加人数** 8人

●**実習内容**

期 日	実習テーマ
7月28日（火）	・オリエンテーション ・館の概要について ・施設の観察と報告
7月29日（水）	・館外視察及びディスカッション （東京国立近代美術館、東京国立近代美術館工芸館ほか）
7月30日（木）	・展覧会の実務（1） （書類の作成、図録の制作など）
8月1日（金）	・館内備品の取り扱い及び整理 ・図書資料の整理
8月2日（土）	・教育普及事業の実際 ・講演会準備の体験
8月3日（日）	・展覧会の実務（2） （作品の取り扱い、調書の作成など）

●**参加大学**

茨城大学、関東学院大学、京都精華大学、昭和女子大学、日本大学、明星大学

5 ホームページ (<http://www.tsukuba.museum.ibk.ed.jp>)

●概要 美術館を利用する方の利便を図り、美術館の情報を発信することを目的としてホームページを作成し、美術館の展覧会やイベント案内、貸しギャラリー等の利用案内に係る情報発信を行っている。

●ページ構成 (平成 22 年 3 月現在)

1. トップページ
2. 展覧会のご案内 (今週の展覧会の紹介や予告)
美術館からのお知らせ
3. 企画展一覧
4. 展示予定
5. 学芸員だより
6. 展覧会出品作品の解説
7. うれしいニュース
8. 貸しギャラリー
9. クロッキー・絵画の会
10. ボランティア活動
11. 地図・案内
12. 施設紹介 (つくば文化会館アルスの紹介と美術館の施設紹介)

●特徴

1. 美術館の入口をイメージした表紙をデザインしている。
2. インデックスのページにコンテンツへのリンクを並べるとともに、現在の展覧会の紹介を一番見やすい位置に設置している。
3. 過去の展覧会の記録にもアクセスすることができる。
4. ホームページの作成を職員自らがを行い、毎週内容を更新している。

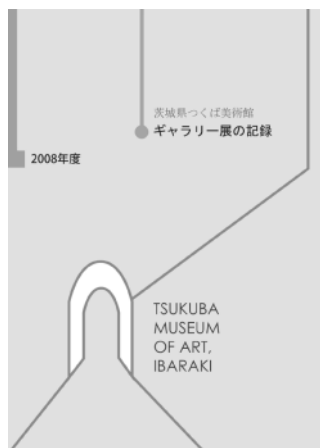
●アクセス数 30503 件

6 メールニュース

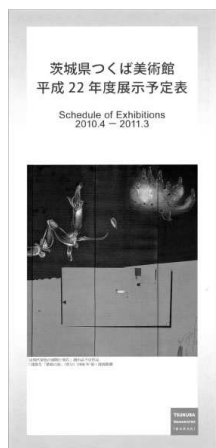
美術館の展示内容を紹介するニュースレターを、展覧会ごとに希望者に配信している。ホームページの美術館からのお知らせ欄から申し込みを受け付けている。平成 22 年 3 月現在、72 名に配信している。

7 広報印刷物

- ギャラリー展の記録 2008 平成 21 年 8 月
- 平成 22 年度展示予定表 平成 22 年 3 月



ギャラリー展の記録 2008



22 年度展示予定表